各都道府県教育委員会委員長　殿
各市町村教育委員会教育長　殿
各幼・小・中・義務教育学校・高等学校（園）長　殿
各特別支援学校長　殿
各関係施設長　殿
特別支援教育関係者及び保護者　各位

令和８年11月吉日

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校長

令和８年度　鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

第22回 公開研究会御案内

＜二次案内＞

紅葉の候，皆様におかれましては，ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて，本校では，令和６年度から「子どもが『よりよい自分』を目指して学びに向かう自立活動の指導の在り方～チームでの協働的取組を通して～」というテーマの下，３年間の期間で研究に取り組んでおります。本研究では、子どもが自ら目指す姿である「よりよい自分」を設定し、「決める・チャレンジ・振り返り」の活動サイクルを取り入れた授業づくりに取り組みました。そして、子どもへ直接指導及び支援を行う教師集団を中心に、授業づくりの基盤となる指導体制を整えながら子どもが主体となる授業づくりの在り方を明らかにするための実践研究を重ねてまいりました。

つきましては，以下のとおり公開研究会を開催し，本校の研究について，御指導，御助言を賜りたいと存じます。御多用の折とは存じますが，関係の皆様に多数御参加いただきますよう，御案内申し上げます。

開催要項

研究主題

子どもが『よりよい自分』を目指して学びに向かう自立活動の在り方
～チームでの協働的取組を通して～

KEYWORD



自立活動の時間における指導



よりよい自分



チーム

期日　令和９年１月29日（金）

会場　鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
鹿児島県障害者自立交流センター　ハートピアかごしま

後援　鹿児島県教育委員会　鹿児島市教育委員会

8:30	9:00	9:15	9:30	10:20	10:50	12:20	13:20	14:20	15:05	16:40	16:50
受付	開会行事 ・開会の挨拶 ・公開授業説明 ※オンライン視聴	移動	授業公開 小学部 ～10:15 中学部 ～10:20 高等部 ～10:20	移動	分科会 ・公開授業に関する授業づくりの概要及び成果と課題の説明 ・公開授業における授業反省等 ・質疑応答 ・講評・指導助言	昼食・休憩	ポスター発表	移動	全体講演 ＜講師＞ 長崎県立虹の原特別支援学校長 分藤　賢之氏		閉会行事
	分科会会場		各教室		分科会会場		プレイルーム		ハートピアかごしま		

授業公開（小9:30～10:15、中・高 9:30～10:20）

学部	学習グループ	授業の概要
小学部	1 （1・2年）	友達や教師と一緒に活動に参加する力を身に付けることを目指して、ルールのあるゲーム形式の活動の中で、教師の言葉掛けや視覚的な情報を手掛かりに自分の気持ちを伝えたり、順番や約束について話し合ったりすることに取り組んでいます。
	◎2 （1年）	自分の思いや要求を相手に伝える言い方を身に付けることや伝わる喜びを実感することを目指して、教師と一緒に好きな遊びに取り組む活動の中で、イラストカードやアプリケーションを使って教師に自分の思いや要求を伝えることに取り組んでいます。
	3 （2年）	自分の気持ちや行動を調整する力を身に付けることを目指して、複数の活動から自己選択・自己決定した遊びの順番で活動に取り組んだり、教師の提案を受け入れて順番を決め直したりすることに取り組んでいます。
	4 （2年）	自分の思いや要求を相手に伝える手段を増やすことを目指して、教師と一緒に好きな遊びに取り組む活動の中で、身振りや写真カードを使って活動を選択したり、教師を活動の場に連れて行ったりすることに取り組んでいます。
	5 （3・4年）	自分の思いや要求を相手に分かりやすく伝える力を身に付けることを目指して、自分の好きな活動に取り組む中で、イラストカードを相手に渡したり、アプリケーションの音声を模倣したりすることに取り組んでいます。
	6 （5・6年）	明瞭な発音と相手に伝える意欲の向上を目指して、平仮名やイラスト、教師の発音を手掛かりに、「パタカラ」の発音を口や舌の動きを意識しながら好きな楽曲に合わせて歌ったり、友達同士とクイズ形式で伝え合ったりすることに取り組んでいます。
	◎7 （3・4・5・6年）	場や状況に応じた伝え方やルールを守って行動する力、関わる力を身に付けることを目指して、友達と一緒にゲームに取り組む中で、気持ちや要求を伝え合ったり、ゲームを成功させるために協力したりすることに取り組んでいます。
中学部	◎1 （1・2・3年）	自分の気持ちや要求を伝えたり、相手の気持ちや状況に応じた行動を調整したりすることを目指して、感覚遊びや二人組で行う簡易なゲームに取り組む中で生じた自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに応じた行動を考えたりする活動に取り組んでいます。
	2 （1・2・3年）	自分の気持ちを捉えて伝えるとともに、相手や状況に応じて、自分の気持ちや行動を調整する力を身に付けることを目指して、友達と一緒にゲーム形式の活動に取り組む中で、自分の感情に気付いて思いを伝えたり、ゲームの進捗や友達の様子から適切な行動について考えたりすることに取り組んでいます。
	◎3 （2・3年）	状況に応じて自他の感情を捉え、他者に気持ちを適切に伝えたり、行動を調整したりする力を身に付けることを目指して、教師が提示する課題を友達と解決する活動に取り組む中で、友達と解決の手順を話し合い、協力しながら遂行し、終末段階には気持ちを振り返る活動に取り組んでいます。
高等部	1 （1・2・3年）	今すべきことを判断して早く正確に行う「効率キング」を目指して、教師が提示する課題をペアで解決する活動の中で、内容等をメモ帳にまとめたり、友達と話し合って役割分担や優先順位を考えたりすることに取り組んでいます。
	2 （1年）	ボディイメージを高めることを目指して、リラクゼーションやダンス、ゲームなどの活動の中で、リラックスしながら身体の動きを確認したり、身体の使い方を意識し、調整したりしています。
	3 （2年）	自分の気持ちをコントロールすることを目指して、ダンスやゲームなどの活動の中で、自分の意見を出したり友達と順番を決めたりすることに取り組んでいます。
	◎4 （2・3年）	自分の気持ちを相手に伝えることを目指して、身近な物を別なものに見立てたり、役になりきったりするロールプレイを行う中で、教師や友達と楽しみながら言葉を交わすことに取り組んでいます。
	5 （3年）	自分の気持ちを相手に伝えることを目指して、教師とやりとりをしながらスケジュールを把握する活動の中で楽しみなことを選んだり、気持ちをカードで表したりすることに取り組んでいます。
	◎6 （1・2年）	他者との関わりの中で自己理解を深めたり、様々な状況で安心して取り組む力を身に付けたりすること目指して、話合いや協力して取り組むゲームを行う活動の中で、自分の特徴や安心できる条件などを「自分説明書」に整理し、状況に応じた支援依頼や行動調整に取り組んでいます。
	7 （2年）	自分の気持ちや要求を理由も添えて分かりやすく伝える力を身に付けることを目指して、教師と共に取り組む活動の中で、イラストカードや言葉カードを使って文を作る学習に取り組んだり、それを相手に分かりやすく伝える学習に取り組んだりしています。
	8 （1・3年）	自分の気持ちを伝える良さに気付くことを目指して、自分の好きなもの・ことから取り組みたいことを選ぶ活動の中で、自分の気持ちについて教師や友達に伝えることに取り組んでいます。
	9 （3年）	集中できる時間を伸ばすことを目指して、生徒が好きな活動や苦手な活動を行う中で、自分で時間を設定しながら取り組んでいます。
	10 （2年）	自己理解を深め、気持ちを整理することを目指して、生徒本人が制作した気持ちを伝えるツールを使って自分の気持ちを教師に表しながら、やるべき活動を自ら見出して取り組んでいます。

※　色が付いている授業は、分科会で協議の対象とする授業です。
※　◎は、ポスター発表の対象児童生徒が所属する授業です。
※　学習活動は公開研究会当日までに変更することがあります。

分科会（10:50～12:20）

学部	分科会内容	共同研究者	指導助言者
小学部	・　公開授業に関する授業づくりの概要及び成果と課題 ・　質疑応答 ・　講評・指導助言	鹿児島大学教育学部 准教授　雲井　未歓　氏	鹿児島大学教職大学院 准教授　四ツ永　信也　氏
中学部		鹿児島大学教育学部 教授　肥後　祥治　氏	鹿児島県教育庁特別支援教育課 指導主事　甫立　将章　氏
高等部		鹿児島大学教育学部 准教授　片岡　美華　氏	発達支援センターゆらいばな 代表　阿久根　剛　氏

ポスター発表（13:20～14:20）

学部	内容	題　名
小学部	学部運営	子どもが「よりよい自分」目指す自立活動の指導体制 ～小学部における協働的取組を通して～
	指導実践	友達と共に「伝えられるようになりたい」を叶える自立活動の指導
	指導実践	「おはなししてあそぼう」から広がる人との関わり ～アプリケーションを活用して自分の思いや要求を伝える実践～
中学部	学部運営	自立活動における協働的取組 ～「子ども主体」になるための工夫と教師の意識変革～
	指導実践	友達とのやりとりを通して、自分の気持ちや要求を伝えることを目指した自立活動の実践 ～Kさんの姿から～
	指導実践	他者との関わりの中で気持ちを捉え、「伝わる・伝える」を目指す自立活動
高等部	学部運営	生徒の学びの蓄積を可能にする高等部の協働的取組 ～高等部時間割の工夫や記録の時間設定を中心に～
	指導実践	ことばで伝えたい！！たくさんお話したい！！ ～Jさんの変容～
	指導実践	冷静に働く自分を目指して ～共に学ぶことを通して自分を知る自立活動の実践～

※　題名は、公開研究会当日までに変更することがあります。

全体講演（15：05～16：40）

演題　**自立活動の指導ー基本と深化ー**



講師プロフィール

分藤（ぶんどう）　賢之（のりゆき）氏

長崎県立
虹の原特別支援学校長

【経歴等】
長崎県立特別支援学校 教諭
長崎大学教育学部附属特別支援学校 教諭
長崎県発達障害者支援センター 指導主事
長崎県教育センター 指導主事
長崎県教育庁 特別支援教育室 指導主事
文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官
長崎県教育庁特別支援教育課 課長
文部科学省初等中等教育局 視学官
長崎県立鶴南特別支援学校長
長崎県立虹の原特別支援学校長

【著書等】
『新重複障害教育実践ハンドブック』 全国心身障害児福祉財団
『授業力向上シリーズNo.１～５』 ジアース教育新社
『年間指導計画システムの理念と実践 知的障害教育スタンダード』 ジアース教育新社等多数

会場

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校（鹿児島県鹿児島市下伊敷一丁目１０番１号）
鹿児島県障害者自立交流センター ハートピアかごしま（鹿児島市小野1丁目１番１号）

※ 会場に駐車場を設けますが，台数に限りがあります。できるだけ公共交通機関を御利用ください。

アクセス方法

九州自動車道「鹿児島北インター」から国道３号線を鹿児島市街地方面に約２km。「玉江橋東口」交差点を左折し約100m。
※西側通用門（自動車学校側）からお入りください。

〈鹿児島市営バス〉
東７乗場鹿児島中央駅 ――→玉江小学校前　又は　玉江橋

〈鹿児島交通・いわさきバス〉
東７乗場鹿児島中央駅 ――→玉江小学校前　又は　玉江橋

〈ＪＲ九州バス〉※「宮之城行き」，「薩摩郡山行き」
東７乗場鹿児島中央駅 ――→玉江小学校前



タクシーでお越しの場合
ＪＲ鹿児島中央駅，天文館ともに会場まで約４km（約1,500円）です。

参加申込み

申込み方法　QRコード及びURL，又は本校ホームページからお申込みください。
申込みフォーム ▶ https://forms.gle/NbuRaUYSiGQC9ZwH9

申込QRコード

申込み締切　令和９年１月１５日（金）

参加費等
1. 終日参加……２,０００円［研究紀要、指導案等の資料を配布いたします。］
2. 全体講演のみ聴講…１,０００円［研究紀要以外の指導案等の資料等を配布いたします。］
3. 研究紀要のみ購入…１,５００円［事前振込ではなく，会場で販売します。］

振込先：ゆうちょ銀行【店名七八八（読み ナナハチハチ）【店番】788 普通預金
【口座番号】１２８２４８ フゾクヨウゴガッコウケンキュウドウジン
※令和９年１月２２日（金）までにお振込みください。

その他

昼食・宿泊地につきましては、各自で御準備いただくようお願いいたします。

問合せ先

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校　研究部
（運営担当：久保田、研究主任：橋口）
〒890-0005　鹿児島市下伊敷一丁目10番１号
099-224-6257　s-koukai@edu.kagoshima-u.ac.jp
https:// www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/ssschool/

学校HP　Instagram